

THE SAISON FOUNDATION

公益財団法人セゾン文化財団

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、セゾン AIR パートナースHIP派遣者の紹介

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、フツツクレイ・コミュニティ・アーツとの交流事業として、アイヌの伝統歌を歌う「マレウレウ」のメンバーであり、国内外のフェスティバルで作品を発表するアーティストのマユンキキさんと Art Translators Collective を主宰し、現代アートや舞台芸術の現場で活動する田村かのこさんを、オーストラリアに派遣いたします。

今回の派遣では、日本とオーストラリアの先住民の文化芸術活動に関する新しい出会いや対話の場を創出する目的で、シドニーとメルボルンに滞在します。滞在期間中、オーストラリアの先住民の文化芸術活動の状況や背景などを理解していただくため、フツツクレイ・コミュニティ・アーツのコーディネートのもとで現地のアーティストや関係者と交流していただく予定です。

- 滞在期間 2023年2月27日(月)ー3月14日(火)
- 滞在场所 Footscray Community Arts (メルボルン)
POWERHOUSE-GALANG (シドニー)

マユンキキ/MAYUNKIKI

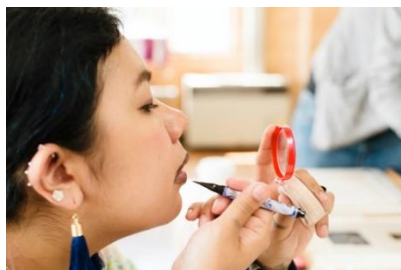


Photo: Hiroshi Ikeda

1982年生まれ。北海道出身・在住。アイヌの伝統歌を歌う「マレウレウ」「アペトウンベ」のメンバー。2021年よりソロ活動開始。音楽分野だけでなく国内外のアートフェスティバルに参加。アイヌ語講師、札幌国際芸術祭(SIAF)2017バンドメンバー(企画チーム)、SIAF 2020ではアイヌ文化コーディネーターをつとめる。2018年より、自身のルーツと美意識に纏わる興味・関心からアイヌの伝統的な文身「シヌエ」の研究を開始。現代におけるアイヌの存在を、あくまで個人としての観点から探求し、表現している。2020年には、第22回シドニー・ビエンナーレ「NIRIN」に参加。同年、写真家の池田宏と「シヌエ アイヌ女性の入墨を

巡るプロジェクト」(北海道・白老)、2021年「シンリッ アイヌ女性のルーツを探る出発展」(北海道・札幌、CAI03)、2022年「Siknure - Let me live」(イギリス・バーミンガム、Ikon gallery)を開催。

田村かのこ/Kanoko Tamura

Art Translators Collective 代表。アート翻訳者として、日英の通訳・翻訳、コミュニケーションデザインなど幅広く活動。人と文化と言葉の間に立つ媒介者の視点で翻訳の可能性を探りながら、それぞれの場と内容に応じたクリエイティブな対話のあり方を提案している。非常勤講師を務める東京藝術大学大学院美術研究科グローバルアートプラクティス専攻では、アーティストのための英語とコミュニケーションの授業を担当。また札幌国際芸術祭2020では、コミュニケーションデザインディレクターとして、展覧会と観客をつなぐメディアーションを実践した。NPO 法人芸術公社所属。



Photo: Flavio-Karrer

主催：公益財団法人セゾン文化財団 提携：Footscray Community Arts

助成：令和4年度文化庁「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」



公益財団法人セゾン文化財団

〒104-0061 東京都中央区京橋3丁目12番7号 京橋山本ビル4階 TEL 03-3535-5566 / FAX 03-3535-5565